

小樽商科大学 卒業論文（平成14年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成14	13518	国際会計の要請 - 国際会計基準 (IAS) への調和化 -	
平成14	13519	介護保険財政の健全化に関する考察	
平成14	13520	ドイツと日本の近代化	
平成14	13521	イギリス産業革命	
平成14	13522	イギリス紅茶文化の光と影 - 紅茶帝国主義と「近代世界システム」-	
平成14	13523	フランス革命による変化とその意義	
平成14	13524	フランス革命とマリー・アントワネット - マリー・アントワネットは冤罪か -	
平成14	13525	エリザベス女王の統治における選択	
平成14	13526	観応の擾乱	
平成14	13527	ユーロの動き	
平成14	13528	労働者の視点から見た中国の労働条件と経済情勢	
平成14	13529	日本の金融システムについて	
平成14	13530	電子マネーについて - その展望を考える -	
平成14	13531	オークション分析	
平成14	13532	芸術って経済?	
平成14	13533	証券業界 - 過去から未来へ -	
平成14	13534	パチスロ統計学	
平成14	13535	パチンコ経済学 - 11ミリの魔球の秘密 -	
平成14	13536	不良債権問題発生の原因	
平成14	13537	マイカル破綻による経済的影響 - マイカルはなぜ破綻したのか -	
平成14	13538	東京ディズニーランド - 経営と戦略 -	
平成14	13539	経済の発展と環境の維持	
平成14	13540	携帯電話	
平成14	13541	大震災と日本	
平成14	13542	台湾からアジアを考える	
平成14	13543	終身雇用制と年功序列制	
平成14	13544	日本占領期における天皇制温存の決定要因に関する考察 - 日独占領改革の比較をへて -	
平成14	13545	現代日本人にとっての宗教	
平成14	13546	北海道労働金庫	
平成14	13547	少子高齢化と公立保育所の民営化	
平成14	13548	パンの歴史と日本の食文化	
平成14	13549	産業クラスター - 北海道の再生と雇用創出に向けて -	
平成14	13550	マネーサプライとわたしたちの生活・文化	
平成14	13551	地方分権について - 国の役割・地方の役割 -	
平成14	13552	環境における外部不経済の是正 - 行政の介入の方策と効果 -	
平成14	13553	地方分権化社会の経済学 - アカウンタビリティの観点から -	
平成14	13554	ワークシェアリングとミスマッチ - 日本におけるワークシェアリングの可能性 -	
平成14	13555	地方分権化社会における補助金制度のあり方	
平成14	13556	教育の経済学からみた大学改革と産学連携	
平成14	13557	日本型ワークシェアリングの展望	
平成14	13558	環境規制が与える経済への影響 - 京都議定書と排出権取引の位置付け -	
平成14	13559	循環型社会へ向けて - リサイクルと不法投棄 -	
平成14	13560	市町村合併と広域行政	
平成14	13561	収益力から考察するメガバンクの現状	
平成14	13562	Johnson & Johnsonの企業分析	
平成14	13563	コンビニエンス・ストア業界の現状と今後	
平成14	13564	地方銀行の在り方	
平成14	13565	旅行業について - JTBとその周りの環境 -	
平成14	13566	M&A とその戦略	
平成14	13567	Empirical Analysis of Exports, Imports, Marshall-Lerner Condition, Exchange rates and Purchasing Power Parity	
平成14	13568	四半期, 年次データを用いた相対的PPPの検証	
平成14	13569	日本経済における金融・財政政策の効果に関する実証研究	
平成14	13570	公的年金の一部民営化への提案	

小樽商科大学 卒業論文（平成14年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成14	13571	市町村合併を通して21世紀の<まちづくり>を考える	
平成14	13572	プラザ合意前後の日本マクロ計量モデル分析	
平成14	13573	企業の境界の決定要因	
平成14	13574	冷え切った, 日本の労働市場	
平成14	13575	バブル経済の発生と原因, その結果について	
平成14	13576	あらゆる悩みがもたらすもの - あなたは悩みのない人生を生きたいですか? -	
平成14	13577	不健全銀行と日本経済 - 銀行は不況の製造工場? -	
平成14	13578	金融不況の比較 - 昭和恐慌・昭和40年不況・平成不況 -	
平成14	13579	バブル期の金融政策と世論の反応 - 経済低迷に対する解決策 -	
平成14	13580	日本の金融不況と現代の諸問題	
平成14	13581	金融不況の原因とその打開策	
平成14	13582	異世代コミュニケーション - 高齢化社会の理想像を模索する -	
平成14	13583	成長論から見た日本のこれから - 過去と理論との比較 -	
平成14	13584	日本経済回復への道 - 不良債権処理は近道か -	
平成14	13585	90年代の景気とマネーサプライ	
平成14	13586	価値と貨幣の研究	
平成14	13587	日本経済復興論	
平成14	13588	発展途上国の抱える問題について - 貿易政策と経済発展 -	
平成14	13589	共通通貨導入によるアジア金融の安定化について	
平成14	13590	日本のデフレ - 克服に必要なのは何か -	
平成14	13591	少子化対策 - 豊かな少子化社会の実現のために -	
平成14	13592	スウェーデンおよびフィンランドから学ぶ創業支援政策 - 日本への応用可能性を探る -	
平成14	13593	アルゼンチンにおけるカレンシーボード制度の有効性とその限界	
平成14	13594	アジア通貨危機におけるIMFの対応策	
平成14	13595	アジア通貨危機のメカニズムと原因	
平成14	13596	日本における財政再建への取り組み - 海外諸国における財政再建からの考察 -	
平成14	13597	日本における失業率の増加とワークシェアリング	
平成14	13598	国際化と労働市場の流動化に関する一考察	
平成14	13599	中国のWTO加盟と日本経済	
平成14	13600	日本における労働力移動の必要性に関する考察	
平成14	13601	中小企業の活性化と競争政策	
平成14	13602	日本と東アジアにおける貿易依存度に関する一考察	
平成14	13603	海外直接投資が日本の産業構造に与える影響	
平成14	13604	観光産業と日本の活性化への取り組み	
平成14	13605	国際化と外食産業	
平成14	13606	地域間格差に関する一考察	
平成14	13607	北方領土返還の日本における経済効果	
平成14	13608	米の貿易自由化に関する考察	
平成14	13609	日本の娯楽産業と消費行動	
平成14	13610	観光産業を活かした北海道経済の活性化	
平成14	13611	日本の地域経済統合政策	
平成14	13612	中国のWTO加盟と地域経済	
平成14	13613	THE PROSPECTIVE EFFECTS OF THE ASEAN FREE TRADE AREA (AFTA) ON THE AUTOMOTIVE INDUSTRY IN MALAYSIA	
平成14	13614	変わりゆく年金制度 - これから必要とされる年金制度とは -	
平成14	13615	教育と経済成長	
平成14	13616	ゼロ金利下における「量的緩和」政策の効果	
平成14	13617	19年変動利付国債の評価	
平成14	13618	アジアにおける日本企業の知的財産権について	
平成14	13619	韓国経済と財閥	
平成14	13620	女性労働問題と少子高齢化社会	
平成14	13621	中国市場の争奪戦 - 外国小売企業の中国進出に伴う中国小売業の影響と行方 -	
平成14	13622	外資系企業の日本進出	

小樽商科大学 卒業論文（平成14年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成14	13623	韓国におけるIT革命	
平成14	13624	日本の医薬品業界の現状と展望	
平成14	13625	インド経済・IT産業の発展	
平成14	13626	日本の産業と空洞化問題	
平成14	13627	アメリカ同時多発テロとその経済に与える影響	
平成14	13628	中国の台頭と日本経済再生への道	
平成14	13629	GMSにおける中央集権的バイイングから地方分権的バイイングへの変化	
平成14	13630	朝里川温泉のブランド・パーソナリティと顧客分析	
平成14	13631	日本における都市銀行の行動と未来	
平成14	13632	デフレ経済に関する考察 - 日本経済の現状とデフレ脱却策について -	
平成14	13633	会計ビッグバンによって変革する日本の会計制度	
平成14	13634	日本の預金保険制度と今後の展望	
平成14	13635	資本主義社会の理想の形	
平成14	13636	変わりゆく保険業界 - 新保険業法がもたらしたもの -	
平成14	13637	日本の財政問題 - 歴史, 現状, 展望 -	
平成14	13638	ホーソン実験と人間関係論	
平成14	13639	人を育てる	
平成14	13640	食品業界の信頼と管理体制	
平成14	13641	従業員満足と人事制度	
平成14	13642	不良債権問題の現状と原因追及	
平成14	13643	口コミの論理と効果的活用法 - Logic of Word-of-Mouth and Its Ejective use -	
平成14	13644	ホテルのブライダル商品開発	
平成14	13645	ミネラルウォーターに関する意識調査と市場拡大要素	
平成14	13646	小樽商科大学及び北海道大学学生ライフスタイル調査 - 7つのクラスターから見る現代の学生像 -	
平成14	13647	あなたはゼミに満足していますか - ゼミの満足度を高める要因を探る -	
平成14	13648	パチンコビジネスの現状と新規顧客開拓への施策	
平成14	13649	活字離れに関する一考察	
平成14	13650	ホンダレンタカーの成長戦略	
平成14	13651	『ラッキーピエロ』のマーケティング戦略	
平成14	13652	サッポロビールのマーケティング戦略	
平成14	13653	通販市場の特質と展開	
平成14	13654	MOBILE COMMERCE IN ASIA - JAPAN AND MALAYSIA CASES -	
平成14	13655	電子商取引におけるデジタル製品のインパクト	
平成14	13656	クレジットカード業界におけるマーケティング戦略分析 - 戦略グループと移動障壁 -	
平成14	13657	ホテル業界のリレーションシップ・マーケティング	
平成14	13658	先発優位・後発優位に見るアタックの戦略について	
平成14	13659	リーダー企業JTJの競争戦略 - FIT市場における競争優位の確立 -	
平成14	13660	小型車業界におけるマーケティング戦略	
平成14	13661	「地域限定商品」ロングセラーへの道 - 北海道限定ビール「クラシック」-	
平成14	13662	キャラクタービジネスにおけるブランド管理 - 夢市場クリエイティブ・プロセス -	
平成14	13663	石田梅岩 - 経営理念の日本的源流 -	
平成14	13664	ロシア経営史 - ツァー専制下の企業者精神 -	
平成14	13665	日本の競馬経営 - 大衆化とその要因 -	
平成14	13666	環境会計について	
平成14	13667	株式会社における財務報告の信頼性の確保	
平成14	13668	市町村合併を語る	
平成14	13669	日・中小企業と米・ベンチャー企業の比較から考える中小企業革新	
平成14	13670	THE SKY IS FALLING	
平成14	13671	会計士監査の発展とその課題	
平成14	13672	小樽という街 - 鯉漁からの発展 -	
平成14	13673	新しい介護福祉の実現のために	
平成14	13674	クチコミが消費者の購買意志決定にもたらす影響について	
平成14	13675	連結財務諸表	

小樽商科大学 卒業論文（平成14年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成14	13676	企業不祥事と内部統制制度について	
平成14	13677	中小企業金融の現状と課題 -なぜ中小企業は資金繰りに苦労するのか-	
平成14	13678	品質管理の基礎とその手法	
平成14	13679	バンカシュランス導入が日本経済へ与える弊害の検証 - 金融ビッグバン政策は日本経済を減衰させ-	
平成14	13680	マクドナルド -外食産業トップを走り続けることができるのか-	
平成14	13681	ベンチャー企業のヒト・モノ・カネ	
平成14	13682	住宅リフォーム市場は住宅業界を救う	
平成14	13683	化粧品業界の現状と今後の課題	
平成14	13684	スポーツ放送ビジネスの現状と将来予測	
平成14	13685	家具小売業で求められる製品・サービスにおける差別化戦略	
平成14	13686	日本の競馬と馬産地における牧場経営の現在と未来	
平成14	13687	セブンイレブンジャパン -コンビニエンスストア業界の発展とこれから-	
平成14	13688	私はなぜブランドを買うのか	
平成14	13689	消費者の音楽CD購買行動	
平成14	13690	組織購買行動論の再検討	
平成14	13691	外食企業の存在意義 - 株式会社とんでんの経営戦略 -	
平成14	13692	小樽の寿司屋における情報提供のあり方	
平成14	13693	北海道における自治体バスサービスの現状と課題 -バス事業の規制緩和と行政問題の狭間で-	
平成14	13694	化粧品の魅力の規定因 - コンビニコスメの実証研究 -	
平成14	13695	企業の社会貢献活動	
平成14	13696	宏樂園におけるマーケティング戦略	
平成14	13697	包括利益の概念とその報告	
平成14	13698	為替予約等通貨取引の研究	
平成14	13699	企業結合会計における「のれん」の取扱	
平成14	13700	税効果会計とその影響	
平成14	13701	年金制度改革に伴う会計制度の変化 -退職給付会計導入前と導入後の会計処理の相違-	
平成14	13702	資産証券化における会計問題	
平成14	13703	キャッシュフローが企業経営に与える影響	
平成14	13704	研究開発費会計 - 新基準導入と企業経営への影響 -	
平成14	13705	日本におけるリース会計の効果	
平成14	13706	企業結合における合併会計	
平成14	13707	退職給付会計制度と将来の企業経営への影響	
平成14	13708	環境会計	
平成14	13709	変貌する資本の部	
平成14	13710	多様化していく企業の連結経営に対応した連結範囲	
平成14	13711	土地における減損会計	
平成14	13712	税効果会計の理論と実証	
平成14	13713	自己株式制度について	
平成14	13714	日本の中小企業支援策 -バングラデシュ~グラミン銀行のマイクロ・クレジットにみる邦銀のあり方-	
平成14	13715	国家賠償法1条における「過失」理論の考察	
平成14	13716	自治体課税権と法定外税	
平成14	13717	情報公開制度を中心とした個人情報についての考察	
平成14	13718	民事訴訟法における文書提出義務 -証拠収集制度の拡充との関連を中心として-	
平成14	13719	境界確定訴訟における法的性質 -形式的形成訴訟説とその考察-	
平成14	13720	一部請求確定判決後の残部請求の可否について	
平成14	13721	因果関係の立証困難性克服についての方策	
平成14	13722	行政訴訟における主張・立証責任	
平成14	13723	一部請求訴訟と相殺の抗弁	
平成14	13724	標準時後における建物買取請求権の行使に関する考察	
平成14	13725	提訴前の証拠収集手続について	
平成14	13726	環境権差止訴訟における当事者適格	

小樽商科大学 卒業論文（平成14年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成14	13727	環境権訴訟における原告の当事者適格	
平成14	13728	民事訴訟における違法収集証拠の証拠能力の拒否	
平成14	13729	将来の法律関係についての確認の利益 - 賃貸借契約中における敷金返還請求権の存在確認 -	
平成14	13730	相殺の抗弁と二重起訴の禁止	
平成14	13731	医療過誤訴訟における因果関係について	
平成14	13732	製造物責任訴訟における原告の立証負担軽減について	
平成14	13733	責任主義と触法精神障害者の処遇について	
平成14	13734	国家賠償法1条と行政庁の裁量行為	
平成14	13735	大学生と大学の関係	
平成14	13736	警察官の逮捕・留置と国の賠償責任	
平成14	13737	労働災害と国の責任	
平成14	13738	行政行為の無効と取消	
平成14	13739	裁量権ゼロ収縮理論と裁量権消極的濫用論	
平成14	13740	予防接種事故と国家賠償責任	
平成14	13741	行政行為における裁量権の行使とその範囲	
平成14	13742	国家賠償法2条における道路の設置又は管理の瑕疵について	
平成14	13743	事件性の存否と司法権の限界	
平成14	13744	行政上の強制執行の問題点	
平成14	13745	学校事故と国家賠償責任	
平成14	13746	不法行為と不作為における賠償責任	
平成14	13747	広島、長崎への原爆投下の違法性 - Illegality of Use of Atomic Weapons to Hiroshima and Nagasaki -	
平成14	13748	台湾の国際法的地位に関する考察 - The Status of Taiwan under International Law -	
平成14	13749	国際司法裁判所の勧告的意見による国家間紛争の解決可能性 - The Possibility of Settlement of Disputes between States by Advisory Opinion of International Court of Justice -	
平成14	13750	獨島の領有権について - On the Dominion of Tok-Do -	
平成14	13751	指名債権譲渡とその対抗要件の研究	
平成14	13752	民法395条と短期賃貸借	
平成14	13753	年金の逸失利益性	
平成14	13754	交通事故と医療過誤が競合した事案における共同不法行為の成否	
平成14	13755	継続的売買の解消	
平成14	13756	民法722条2項の過失相殺における被害者の過失	
平成14	13757	譲渡担保	
平成14	13758	航空運送における旅客運送人の責任 - 航空運送法規の概要とワルソ一条約17条の解釈を中心として -	
平成14	13759	満期白地手形における補充権の消滅時効	
平成14	13760	傷害保険契約における偶発生の要件と立証責任	
平成14	13761	株式会社におけるストック・オプション制度 - 平成13年商法改正による意義と問題 -	
平成14	13762	保険相互会社の株式会社化について - 法的見地からの考察 -	
平成14	13763	ベンチャー企業と平成13年・14年商法改正について	
平成14	13764	株主代表訴訟 - 平成13年商法改正による合理化と問題点 -	
平成14	13765	改正商法の活用性 - ベンチャー法とトラッキングストックに着目して -	
平成14	13766	委員会等設置会社制度の導入に対する検討	
平成14	13767	国際知的財産法制とTRIPS協定	
平成14	13768	建設入札談合の法的規制と入札制度改革について - 日米の制度比較からのアプローチ -	
平成14	13769	食品安全とWTO - 狂牛病(BSE)問題を中心に -	
平成14	13770	日本企業のコーポレート・ガバナンス - 経営管理機構のあり方と取締役会改革 -	
平成14	13771	株主代表訴訟における担保提供制度	
平成14	13772	会社分割制度の研究と考察	
平成14	13773	表見代表取締役と第三者の過失	
平成14	13774	株主代表訴訟	

小樽商科大学 卒業論文（平成14年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成14	13775	新株の著しい不公正発行について	
平成14	13776	商法改正による自己株式の取得について	
平成14	13777	取締役の第三者に対する責任について	
平成14	13778	中国の会社法の諸問題について	
平成14	13779	私生活上の非行と懲戒権	
平成14	13780	人事条項のあり方	
平成14	13781	降格	
平成14	13782	職場におけるプライバシー - 労働者の人格権の側面から -	
平成14	13783	時間外労働義務の発生	
平成14	13784	日本におけるワークシェアリング	
平成14	13785	安全配慮義務 - 義務内容と立証責任 -	
平成14	13786	憲法13条における自己決定権 -『宗教的輸血拒否の可否』について-	
平成14	13787	盗聴法の憲法問題点	
平成14	13788	プライバシーの権利と表現の自由	
平成14	13789	個人情報保護とプライバシーの権利	
平成14	13790	外国人の参政権	
平成14	13791	難民と庇護権	
平成14	13792	死刑制度を考える	
平成14	13793	表現の自由とわいせつ表現の規制	
平成14	13794	憲法代九条の解釈, および平和的生存権に関する考察	
平成14	13795	男女平等の社会を目指して	
平成14	13796	JAL・JAS統合についての是非	
平成14	13797	独占禁止法における国・地方公共団体の責任性	
平成14	13798	著作物再販制度について - 出版業界にはびこる問題 -	
平成14	13799	ユーザ自主参加型のインターネット調査における調査回答者の属性に関する考察	
平成14	13800	階層的意思決定における相対評価法と絶対評価法に関する比較	
平成14	13801	回帰分析における異常値検出フローチャートの提案	
平成14	13802	戦後の日本経済	
平成14	13803	インターネット接続形式調査	
平成14	13804	中央競馬における確率論的データ分析	
平成14	13805	少年期スポーツにおける指導者の役割と知識	
平成14	13806	国民のライフスタイルの変化がもたらす外食産業の展望	
平成14	13807	デポジット・リファンド・システムのモデル分析	
平成14	13808	生産管理のスケジューリング問題におけるラグランジュ緩和法の利用	
平成14	13809	地域産業連関分析 - ワールドカップによる経済波及効果 -	
平成14	13810	サプライチェーンマネジメント	
平成14	13811	外食産業の現状と課題	
平成14	13812	チェーンストアマネジメント - チェーンストア組織の現状と今後についての考察 -	
平成14	13813	電子メディアと若者のコミュニケーション	
平成14	13814	中小企業の現状とその改善策	
平成14	13815	日本での環境税の導入	
平成14	13816	AHPを利用した札幌ドームまでの最適路選択	
平成14	13817	AHPによるブロードバンド接続評価及びプロバイダ評価	
平成14	13818	包絡分析法DEAによるサッカー選手の攻撃力の評価と分析	
平成14	13819	AHPによる宅配便評価	
平成14	13820	AHPによるゴルフクラブの評価と分析	
平成14	13821	ビジネスモデル創造の為の戦略的発想法 - 起業家の発想モデルに関する考察 -	
平成14	13822	失敗に潜む逃げのメカニズム - 失敗事例net-supporting有珠山における逃げの構造のモデル化 -	
平成14	13823	物事を両立させて行うための重要な要素 -モチベーションとスケジュールの管理-	
平成14	13824	情報化時代のコミュニケーション論 - 理解の創出を求めて -	
平成14	13825	独立行政法人化する国公立大学への新しい収益構造の提言	
平成14	13826	身体部位を使った感情を表すイディオムに関する考察	

小樽商科大学 卒業論文（平成14年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成14	13827	企業ロゴマークを用いた潜在記憶実験	
平成14	13828	印象形成過程に関する考察	
平成14	13829	企業イメージの記憶 - 誤帰属を起こさせるのはどのような要因か? -	
平成14	13830	色彩の再認に及ぼす背景音楽の影響	
平成14	13831	因子分析法によるサッカーチームのディフェンス力分析	
平成14	13832	ワークスケジュールリングプログラムによる勤務シフトの作成	
平成14	13833	プライベートブランドとナショナルブランドの知覚品質の分析	
平成14	13834	遺伝的アルゴリズムを用いた北海道内ドライブ旅行の巡回路選択	
平成14	13835	株式運用における株価データの期間長別期待収益率の検証	
平成14	13836	RSA暗号系の構築	
平成14	13837	データマイニングによる不動産市場価格決定要因の推定	
平成14	13838	ビジョナリー・カンパニー再訪問 - 知識社会の到来 -	
平成14	13839	製品・サービスにおける創造的摩擦	
平成14	13840	トヨタ・セルシオの開発に学ぶ知識創造のマネジメント	
平成14	13841	オンラインショップの実態と今後	
平成14	13842	小規模URLデータベースにおける自立的運用手法	
平成14	13843	ユーザ志向によるネット家電指針	
平成14	13844	わが国における電子投票の必要性和今後の可能性	
平成14	13845	初等中等教育におけるインターネットの導入	
平成14	13846	e-Japan戦略における電子自治体の実現に向けての課題	
平成14	13847	情報システムにおけるCIOの重要性	
平成14	13848	システム障害とその防止策に関する考察 - みずほの事例分析をもとに -	
平成14	13849	システム障害とその影響分析 - みずほのシステム障害を例に -	
平成14	13850	行政の電子化における個人情報管理の安全性について	
平成14	13851	地方自治体の電子化に向けての考察	
平成14	13852	生命保険相互会社の現状と株式会社化について	
平成14	13853	システム統合のためのプロジェクト体制 - みずほ銀行にみるシステム障害 -	
平成14	13854	都市銀行のシステム統合における問題分析と考察	
平成14	13855	B2B導入のための企業改革	
平成14	13856	システム障害の分析とその対策について - 金融システムの事例をもとに -	
平成14	13857	循環型社会を目指した廃棄物処理・リサイクルに関する研究	
平成14	13858	北海道における直接二酸化炭素排出量の推計と考察	
平成14	13859	北海道のマテリアルバランスの推計に関する研究	
平成14	13860	廃棄物処理における脱物質化へのアプローチ	
平成14	13861	GHG排出権取引の制度設計に関する研究	
平成14	13862	南亮三郎と人口論	
平成14	13863	日本映画にみる民族表象の歴史	
平成14	13864	朝鮮植民地期における日本人の朝鮮観に関する一考察	
平成14	13865	小林多喜二はなぜプロレタリア作家の道へ進んだのか - 作品の執筆スタイルの変化に注目して -	
平成14	13866	微生物を媒介として形成されたjarosite群の形態特性	
平成14	13867	現代青年における孤独の本質と孤独感がもたらす対人関係への影響について What is nature of the loneliness in modern adolescence? - The influence of loneliness upon interpersonal relationship. -	
平成14	13868	大学生におけるサポート提供意識とサポート受領意識が心理状態に及ぼす影響について - The supplied support and received support in students. -	
平成14	13869	ソーシャルサポートが健康生成に及ぼす影響 - The influence of social support upon health production -	
平成14	13870	提示条件内容の違いによるルール遵守行動変化 - What condition makes people obey the rule? -	
平成14	13871	CMC (Computer Mediated Communication) とその印象形成についての考察 - Consideration about Impression formation through CMC (Computer Mediated Communication)	
平成14	13872	伊耶那美は黄泉戸喫でなにを食べたのか - 古事記の魅力 -	

小樽商科大学 卒業論文（平成14年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成14	13873	笠地蔵の謎 - 境 -	
平成14	13874	酒呑童子の正体 - Who is Shuten-Douji? -	
平成14	13875	後志海域における漁業, 遊漁とプレジャーボート等のあり方 - サクラマス遊漁を例にとり -	
平成14	13876	青函トンネル湧出物の成分分析とその有効利用法に関する研究	
平成14	13877	フランス語はどのような言語か	
平成14	13878	地方語とその話者に対する国家のあり方	
平成14	13879	ナショナリズムについて	
平成14	13880	人とファッションの20世紀	
平成14	13881	フランスの食文化について	
平成14	13882	日本におけるシュタイナー教育の実践	
平成14	13883	A Study of Macbeth's Character	
平成14	13884	A Vocabulary Analysis and Word Index to Tennessee Williams's A Streetcar Named Desire	
平成14	13885	A Vocabulary Analysis and Word Index to Tennessee Williams's Glass Menagerie	
平成14	13886	The Character of Hamlet	
平成14	13887	Legal Interpretation of the Court Scene in The Merchant of Venice	
平成14	13888	A Friendship in Julius Caesar	
平成14	13889	The Tragic Themes in King Lear	
平成14	13890	A World of Words in the World of Wonder	
平成14	13891	The Characters of The Merchant of Venice	
平成14	13892	Assimilation in A Midsummer Night's Dream	
平成14	13893	Japanese features described in Western films and the consideration	
平成14	13894	洋画翻訳の表現分類研究	
平成14	13895	Conflictive Speech Acts in American English and Culture - Strategies for Intercultural Communication -	
平成14	13896	Expressions of Using Auxiliary Verbs - 助動詞を使用した表現 -	
平成14	13897	Film & Dramaを用いたコミュニケーション能力の向上法	
平成14	13898	Communication Analysis of SAMMA AKASHIYA	
平成14	13899	前置詞のコロケーション - 場所規定と時間規定をあらわす最も基本的な前置詞 -	
平成14	13900	Purposes for English Education - Are there any gaps between teachers' and students'? -	
平成14	13901	CLASS STYLES IN AMERICAN UNIVERSITY AND JAPANESE UNIVERSITY	著者4人
平成14	13902	The students' Motivation for Intercultural Communication - Why do Japanese hesitate to communicate with foreigners in spite of learning English for a long time? -	
平成14	13903	ヒップポップの背景と意義 - ブラック・カルチュラル・スタディーズに向けて -	
平成14	13904	Arcadiaにおける悲劇性 - Tom Stoppard の Arcadia -	
平成14	13905	記憶との対峙 - Toni Morrison, Beloved における Paul D の役割 -	
平成14	13906	法的観点から見た日韓・日朝関係 - 支配政策としての法とそのなかで生きる在日朝鮮人 -	
平成14	13907	「従軍慰安婦」問題 - 戦争責任・フェミニズム・歴史解釈 -	
平成14	13908	天才に支配される視線 - ヒッチコックの映画『サイコ』を読む -	
平成14	13909	寓意生と読者の経験 - William Golding, The Spire 考 -	
平成14	13910	歴史修正主義批判 - 歴史認識と戦後責任 -	
平成14	13911	THE AFFILIATED THEORY OF JAPANESE AND KOREAN	
平成14	13912	A HISTORY OF JAPANESE	
平成14	13913	COMPLEMENT STRUCTURE IN ENGLISH	
平成14	13914	LANGUAGE ACQUETION BY CHILDREN	
平成14	13915	THE EFFECTIVE ENGLISH EDUCATION IN JAPANESE HIGHSCHOOL	
平成14	13916	『こころ』をどうとらえるか	
平成14	13917	スポーツと社会の関係 - 日本のサッカーに見る社会とのかかわり -	
平成14	13918	フランケンシュタインと社会的性役割	

小樽商科大学 卒業論文（平成14年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
平成14	13919	『ロビンソン・クルーソー』における監獄論	
平成14	13920	おとぎ話の魔法 - グリムとディズニーのイデオロギー的普遍性 -	
平成14	13921	多重人格者とその犯罪に関する一考察	
平成14	13922	イタリア・マフィアに関する一考察	
平成14	13923	フードビジネスの未来	
平成14	13924	北朝鮮型社会主義の展開と変遷	
平成14	13925	日本経済長期低迷の原因と未来 - 日本経済が立ち直るためにはどうすべきか -	
平成14	13926	海外ファッションブランドの日本におけるブランドマーケティング	
平成14	13927	世界的標準化と地域適合化 - マクドナルドを事例に挙げて -	
平成14	13928	どうなる今後の青果物流通	
平成14	13929	ファシリティマネジメントの今後	
平成14	13930	携帯電話 - ドコモの歩む道 -	
平成14	13931	資産価値を内包するブランドとその現状	
平成14	13932	コミュニティFM局設立計画書	
平成14	13933	土地の再評価とその問題点の考察	
平成14	13934	減価償却についての考察	
平成14	13935	環境会計の概要と現状	
平成14	13936	オフバランス取引の必要性	
平成14	13937	時価会計を反映しない後入先出法	
平成14	13938	キャッシュ・フロー計算書の重要性	
平成14	13939	安楽死と尊厳死について	
平成14	13940	自衛の手段としての核兵器使用の違法性 - Illegality of Use of Nuclear Weapons for the purpose of Self-defence -	
平成14	13941	米軍艦船による国内の港への入港と港湾管理者の権限 - Entry In Japanese Ports By U.S. Warships And Authority Of Port Management -	
平成14	13942	政府開発援助に伴う住民移転と国際法 - the residents move and international law accompanying Official Development Assistance -	
平成14	13943	国際法における国有化に対する補償原則 - Compensation for Nationalization under International Law -	
平成14	13944	武力紛争予防に於ける予防外交適用の有効性 - The effectiveness of preventive diplomacy for prevention of armed conflicts -	
平成14	13945	国際英文契約書の分析	
平成14	13946	アイヌの口琴「ムックリ」の総合的研究 - ムックリの研究史を中心として -	
平成14	13947	オセアニアの楽器の特徴と口琴との関わりを探る	
平成14		「13948-13974」は修士論文	